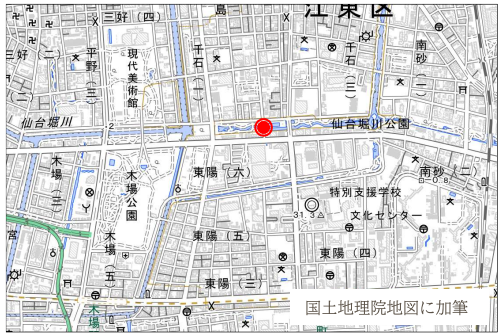
千田橋

橋梁形式：三径間連続非合成鈑桁橋
架設年次：昭和４年１２月
所 在 地：江東区千石二丁目から
　　東陽六丁目間仙台堀川に架かる
橋　　長：38.7m
幅　　員：11.8m

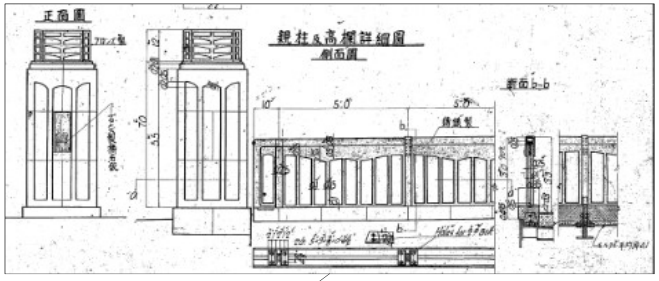


昭和53年撮影

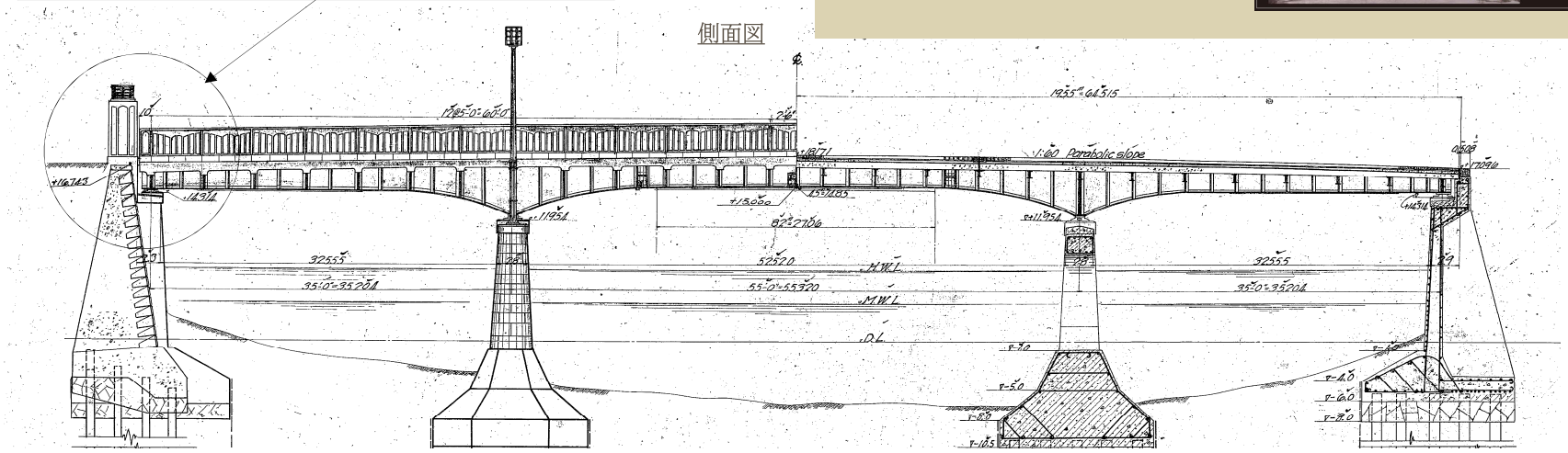
現在の様子

現在の様子

千田橋は、大正12年に発生した関東大震災の復興事業の一環として架けられた「震災復興橋梁」の一つです。
連続橋とは、主桁や主構などの主構造が2径間以上にわたって力学的に連続している橋のことです。



側面図



説明板設置工事について

令和5年に関東大震災から100年を迎えるにあたり、過去の記憶や震災復興橋梁の歴史を広く区民に継承し、防災意識の啓発を図るために震災復興橋梁の説明看板を設置しました。